



2027 経営戦略方針を策定

子育てしやすさ NO.1 プロジェクトをバージョンアップ

豊中市は、市が策定している「総合計画」と「基本政策」を、経営的視点でスピード感をもって着実に進めるために「2027 経営戦略方針」を策定しました。

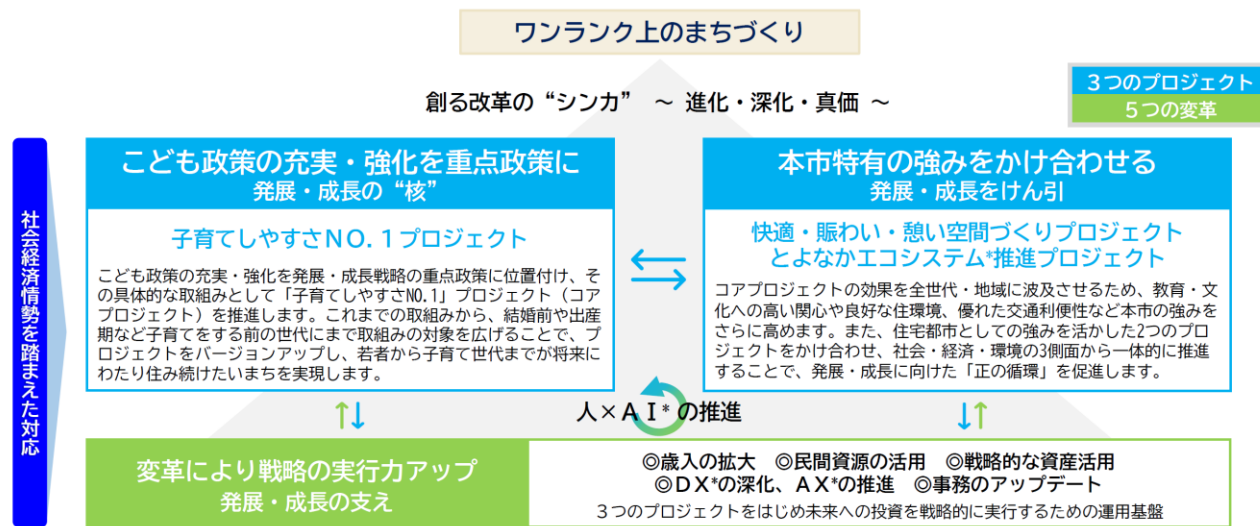
本方針は、創る改革のシンカ（進化・深化・真価）のもと「子育てしやすさ NO.1 プロジェクト」「快適・賑わい・憩い空間づくりプロジェクト」「とよなかエコシステム推進プロジェクト」の3つのプロジェクトと、プロジェクトを戦略的に実行するため AI 活用を中心とした「変革の推進」を一体的に展開することで、「ワンランク上のまちづくり」を進めます。

2027 経営戦略方針 ～発展・成長に向けて～

2026.09.01 豊中市

2025 経営戦略方針以降、既成概念にとらわれず常に挑戦し続ける「創る改革」の理念のもと、3つのプロジェクトと変革の推進を一体的に展開し発展・成長に向けた取組みを進めてきました。その中で、財源やサービスの質の向上を生み出す土壌が着実に育まれ、人口・税収・満足度など戦略の進捗を示す指標も着実に向上しています。

2027 経営戦略方針においては、これまでの経営戦略の方向性を踏襲しながら、創る改革のシンカ（進化・深化・真価）のもと3つのプロジェクトと変革をさらにバージョンアップします。加えて AI を全庁的に活用した市民サービスの展開や、人と AI それぞれの強みを活かした行政運営により、ワンランク上をめざしたまちづくりを進めます。



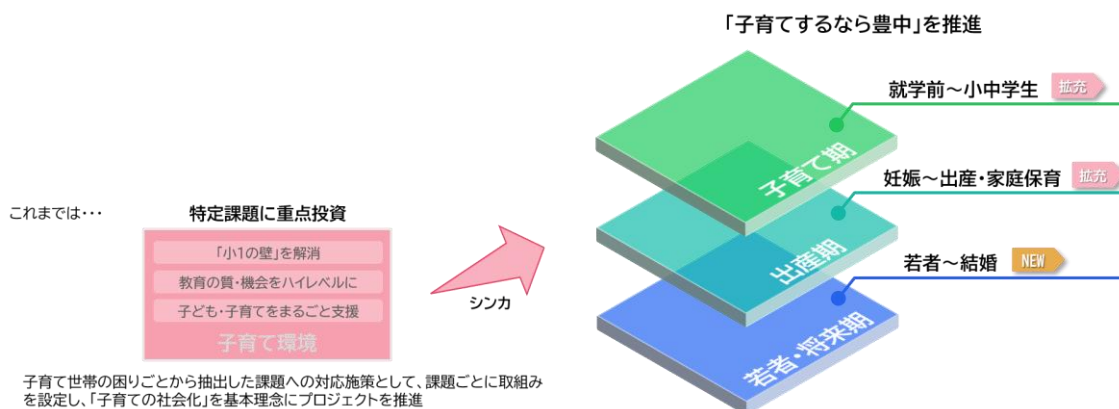


方針の概要

◎3 つのプロジェクト（未来への投資）

➤ 子育てしやすさ NO.1 プロジェクト

これまでの子育て世帯の困りごとへの対応に加え、結婚前や出産期など子育てをする前の世代にまで取組みの対象を広げ、「子育てするなら豊中」をめざします。



➤ 快適・賑わい・憩い空間づくりプロジェクト

公園や駅前空間の魅力向上、快適な移動環境の整備に加え、消防・防災・減災の取り組みの充実など、都市の安全基盤を強化し、上質な都市空間の創出をめざします。

➤ とよなかエコシステム推進プロジェクト

教育・企業・地域資源をつなぎイノベーションが連鎖する好循環モデルを構築し、新たな都市価値を創出することで豊中ブランド力のさらなる向上と定着を図ります。

◎変革の推進

新たにマーケティングの視点や AI の全庁的な活用を取り入れながら、財源の確保や市民サービスの向上を図り、未来への投資を戦略的に実行します。

詳細はこちら▼

<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/keieisenryakuhoushin/keieisenryakuhousin.html>

【報道機関からの問い合わせ先】

都市経営部経営戦略課

担 当： 松本、高橋、上坂

TEL：06-6858-2773

E-mail：keiei@city.toyonaka.osaka.jp